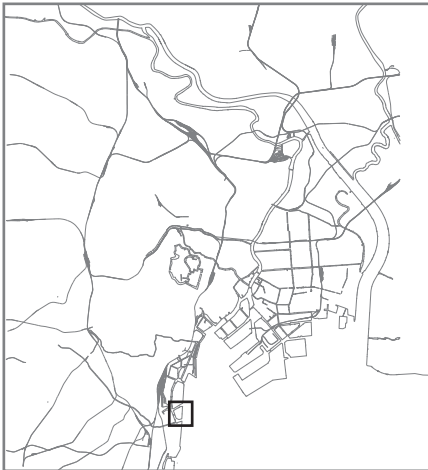


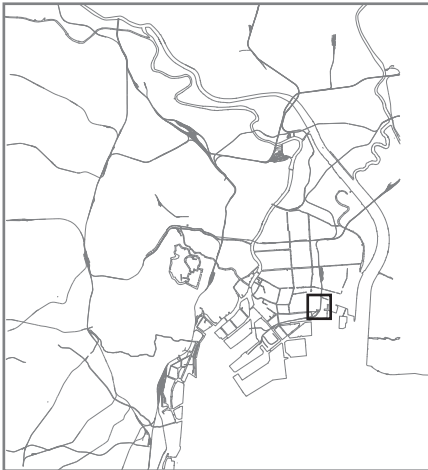
昭和 NO.20



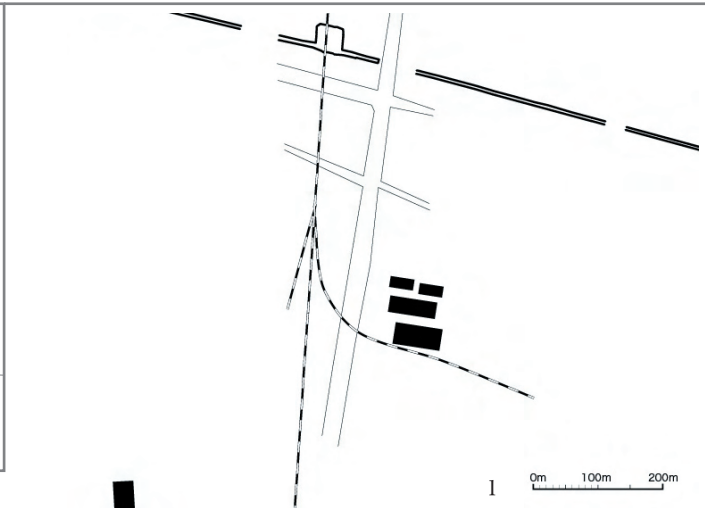
地図の年代 1956年(昭和31年)
 場所 東品川二丁目
 名称
 インフラ 京浜運河、品川駅



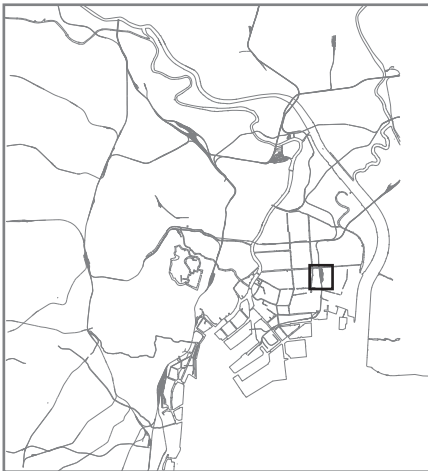
昭和 NO.21



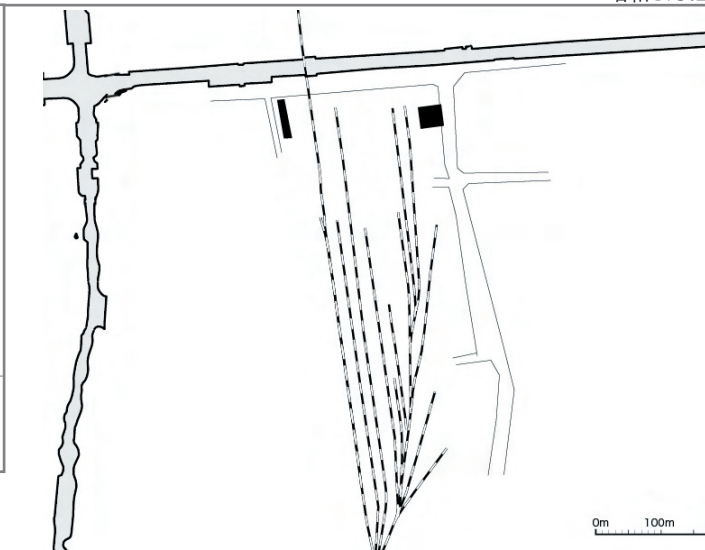
地図の年代 1956年(昭和31年)
 場所 南砂町三丁目
 名称 1 共同倉庫
 インフラ 越中島線、砂町川



昭和 NO.22



地図の年代 1956年(昭和31年)
 場所 南砂町三丁目
 名称 1 共同倉庫
 インフラ 越中島線、砂町川





4. 現代 - 平成 9 年 (1997 年)

1997 年東京都縮尺 2500 分の 1 地形図から倉庫記号の付けられた建物を調査した。

現代 NO.1

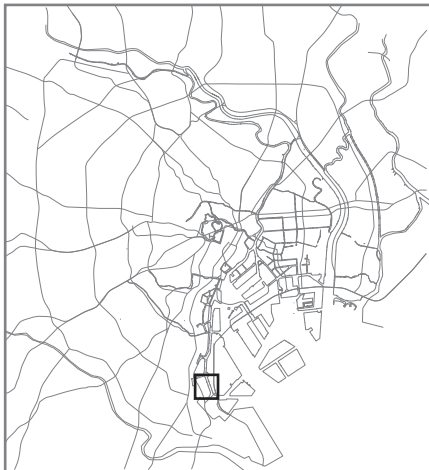


広域地図と所在地

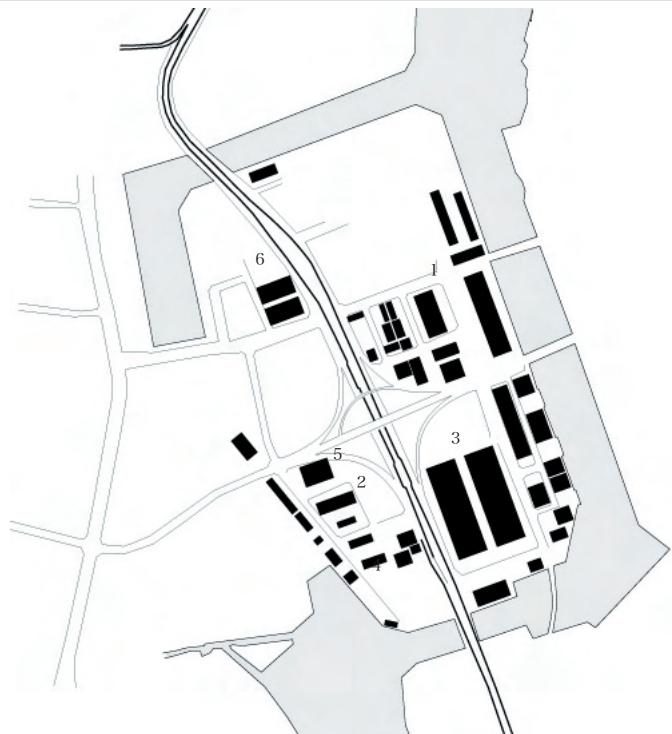


地図の年代 1997年(平成9年)
 場所 高島平、笹目
 名称 東京団地倉庫板橋事業所
 インフラ 首都高速5号線

現代 NO.2

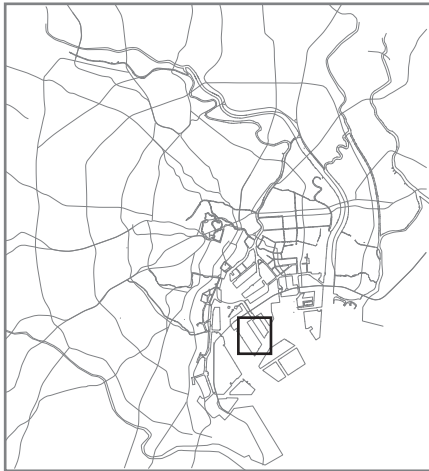


広域地図と所在地



地図の年代 1997年(平成9年)
 場所 平和島
 名称 1, 東京団地倉庫平和島事業所
 2, 住友倉庫
 3, 東京流通センター
 4, アサヒビール
 5, ニチレイ
 6, 日本通運
 インフラ 首都高速1号羽田線

現代 NO.3

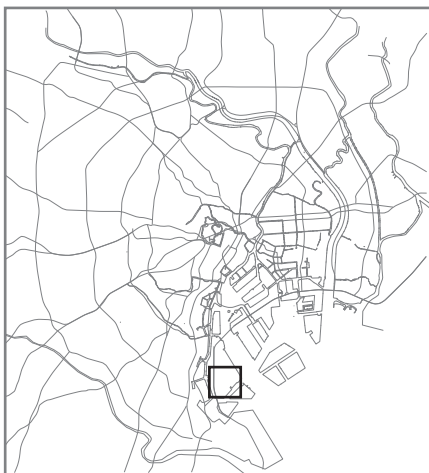


広域地図と所在地

地図の年代 1997年(平成9年)
 場所 青海、有明
 名称 1, コンテナターミナル
 2, ワールド流通センター
 3, 青海流通センター
 インフラ 首都高速湾岸線

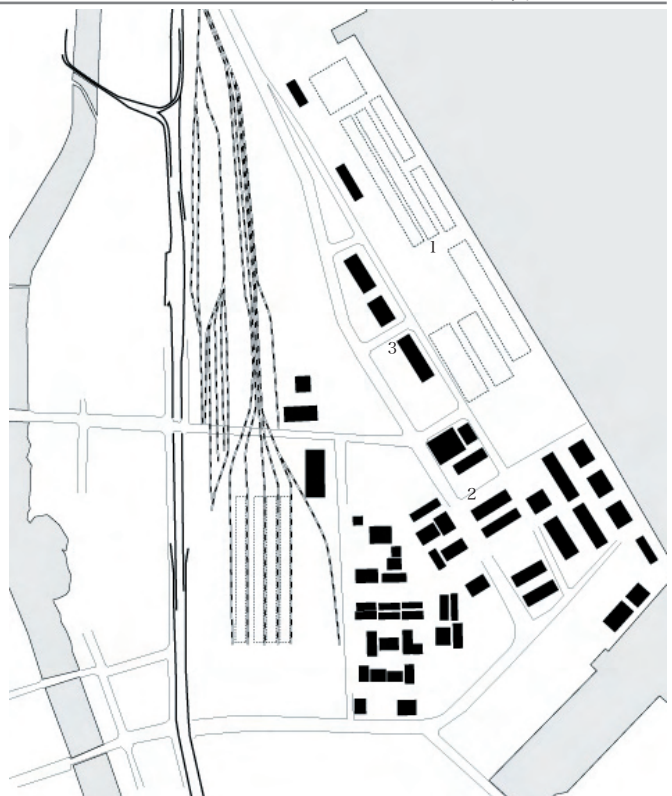


現代 NO.4

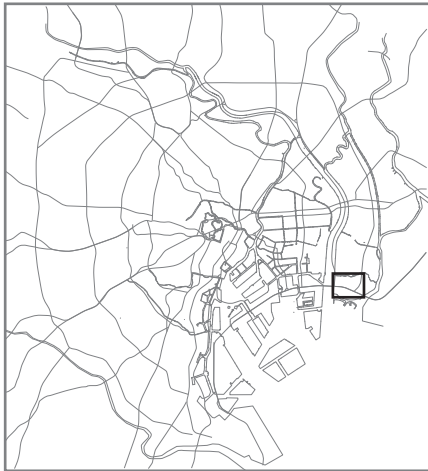


広域地図と所在地

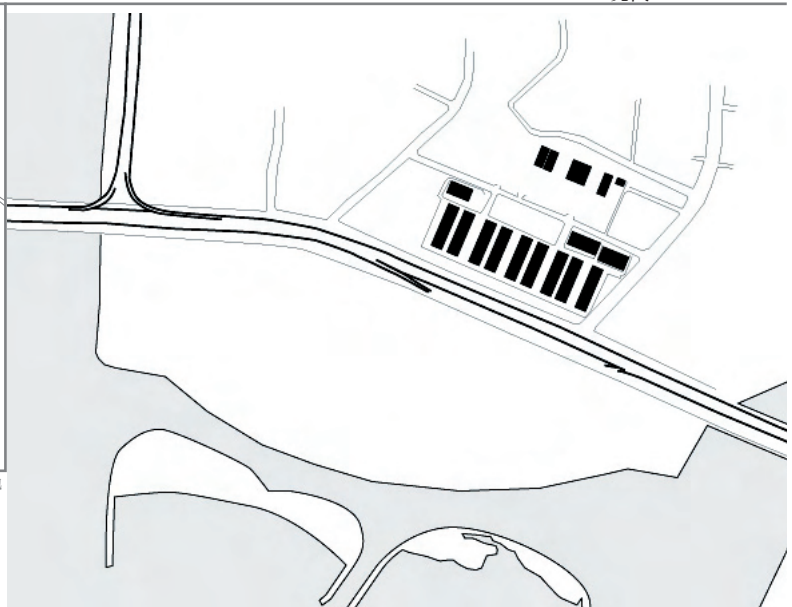
地図の年代 1997年(平成9年)
 場所 東海
 名称 1, コンテナターミナル
 2, 大井海貨上屋
 3, 日本郵船
 インフラ 首都高速湾岸線
 東京貨物大井東海ターミナル



現代 NO.5

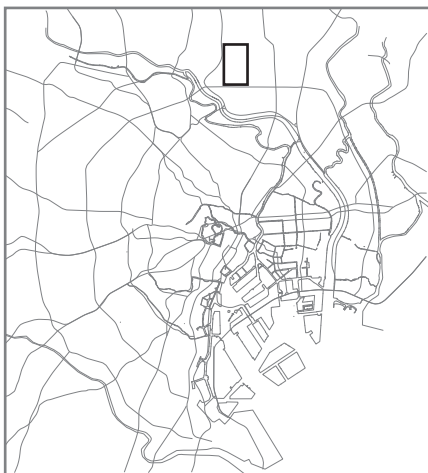


広域地図と所在地

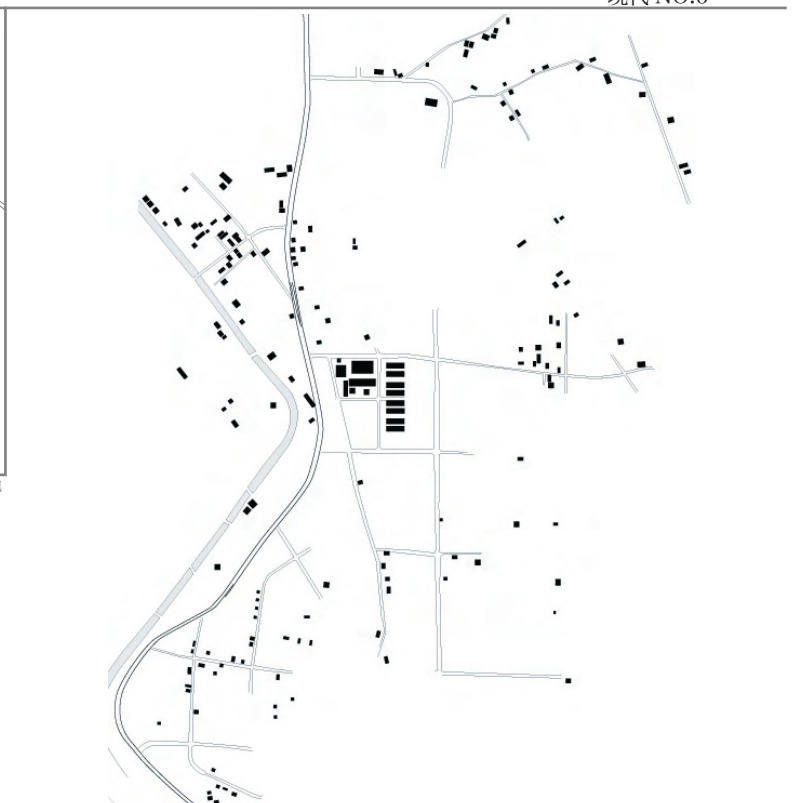


地図の年代 1997年(平成9年)
 場所 江戸川区臨海町
 名称 東京団地倉庫葛西事業所
 インフラ 首都高速湾岸線

現代 NO.6



広域地図と所在地



地図の年代 1997年(平成9年)
 場所 足立区入谷
 名称 東京団地倉庫足立事業所
 インフラ 首都高速川口線

資料編 2 倉庫の形態的変遷

資料編 2 図版出典一覧

- fig S1-1 『三菱倉庫百年史』三菱倉庫株式会社編纂
fig S1-2 舞鶴赤れんが博物館 website
fig S1-3 舞鶴赤れんが博物館 website
fig S1-4 『渋沢倉庫六十年史』渋沢倉庫六十年史編纂委員会編
fig S1-5 『横浜史』
fig S1-6 『三千分の一地形図 昭和 24 年修正版』
fig S1-7 『渋沢倉庫六十年史』渋沢倉庫六十年史編纂委員会編
fig S2-1 『三菱倉庫百年史』三菱倉庫株式会社編纂
fig S2-2 『三菱倉庫百年史』三菱倉庫株式会社編纂
fig S2-3 『住友倉庫百年史』住友倉庫編纂
fig S2-4 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S2-5 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S2-6 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S2-7 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S3-1 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S3-2 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S3-3 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S3-4 『建築設計資料集成第 2 巻』1947 年
fig S3-5 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S3-6 『新版日本倉庫業史』日本倉庫協会編纂
fig S3-7 『建築設計資料集成第 2 巻』1947 年 日本建築学会編
fig S4-1 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S4-2 『新版日本倉庫業史』日本倉庫協会編纂
fig S4-3 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S4-4 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S4-5 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S4-6 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S5-1 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S5-2 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S5-3 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S5-4 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S5-5 『新版日本倉庫業史』日本倉庫協会編纂
fig S5-6 『新版日本倉庫業史』日本倉庫協会編纂
fig S5-7 『住友倉庫百年史』住友倉庫編纂
fig S5-8 『建築設計資料集成 5』1960-1972 日本建築学会編
fig S6-1 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S6-2 『建築設計資料集成 5』1960-1972 日本建築学会編
fig S6-3 『横浜港史』横浜港振興協会、横浜港史刊行委員会編
fig S6-4 『新版日本倉庫業史』日本倉庫協会編纂
fig S6-5 『三菱倉庫百年史』三菱倉庫株式会社編纂
fig S7-1 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S7-2 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S7-3 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S7-4 『三井倉庫八十年史』三井倉庫社史編纂委員会編纂
fig S7-5 『建築設計資料集成 生産・交通』2004 日本建築学会編
fig S7-6 YCC 横浜港流通センターホームページ
fig S7-7 『建築設計資料集成 生産・交通』2004 日本建築学会編



fig S1-1

名称 三菱旧江戸橋倉庫
 竣工年 1880
 構造形式 煉瓦造 レスカル設計
 敷地 東京都箱崎
 輸送手段 舟

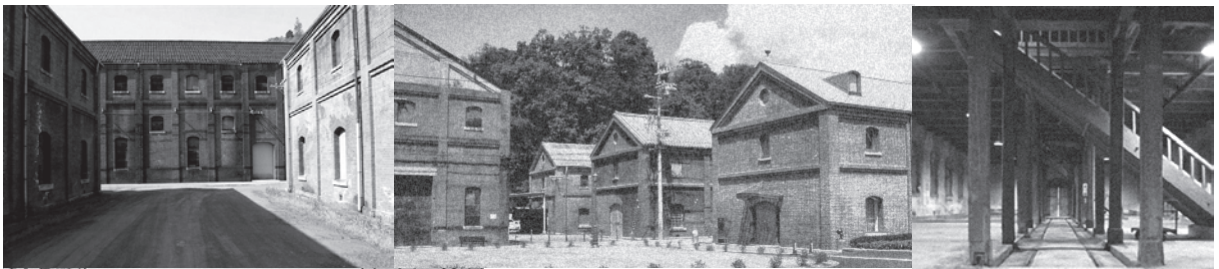


fig S1-2



fig S1-3

名称 旧舞鶴海軍兵器廠倉庫
 竣工年 1901-1921
 構造形式 煉瓦造
 敷地 京都府舞鶴
 輸送手段 鉄道



fig S1-4

名称 南茅場町河岸倉庫
 竣工年 1909年
 構造形式 土造
 敷地 東京都南茅場町
 輸送手段 舟

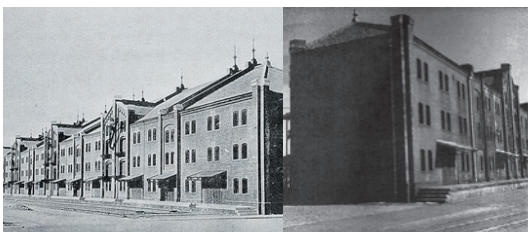


fig S1-5



fig S1-6

名称 横浜港新港埠頭保税倉庫
 竣工年 1910
 構造形式 煉瓦造 妻木頼黄設計
 敷地 東京都箱崎
 輸送手段 舟、鉄道

名称 横浜港新港埠頭保税倉庫
 竣工年 1910
 構造形式 煉瓦造 妻木頼黄設計
 敷地 東京都箱崎
 輸送手段 舟、鉄道



fig S1-7

名称 澁澤深川倉庫
 竣工年 1909
 構造形式 鉄筋コンクリート造
 敷地 東京都深川
 輸送手段 舟

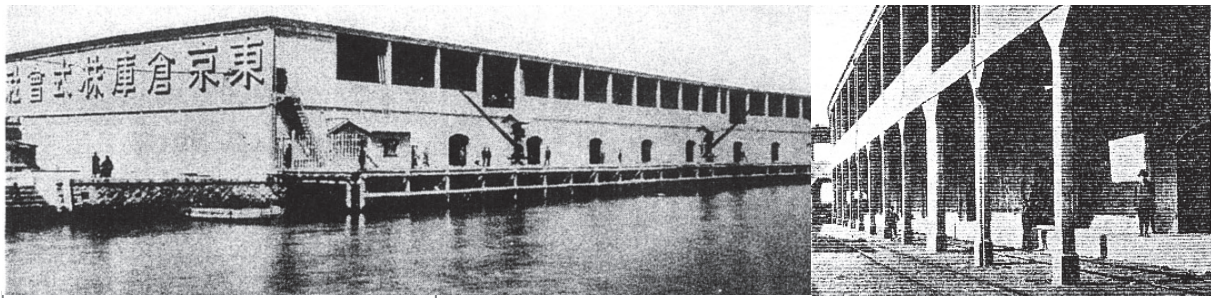


fig S2-1

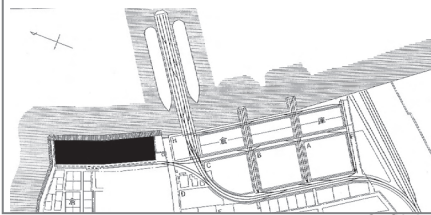


fig S2-2

名称 東京倉庫和田ターミナル倉庫
 竣工年 1910
 構造形式 鉄筋コンクリート造二階建
 敷地 兵庫県神戸市和田岬
 輸送手段 舟、鉄道

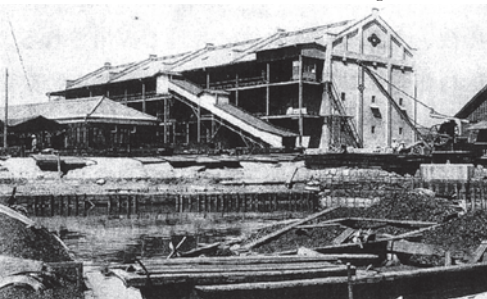


fig S2-3

名称 住友倉庫大阪安治川倉庫
 竣工年 1913年
 構造形式 鉄筋コンクリート三階建
 敷地 大阪府
 輸送手段 舟、エプロンコンベア



fig S2-4

名称 三井小野浜倉庫
 竣工年 1917
 構造形式 木造
 敷地 神戸市小野浜
 輸送手段 舟



fig S2-5

名称 横浜新港倉庫E号
 竣工年 1919年
 構造形式 鉄筋コンクリート1階建
 敷地 横浜
 輸送手段 舟



fig S2-6

名称 三菱倉庫新港3号
 竣工年 1920年
 構造形式 鉄筋コンクリート1階建
 敷地 横浜
 輸送手段 舟



fig S2-7

名称 三井倉庫吉塚倉庫
 竣工年 1920年
 構造形式 鉄筋コンクリート1階建
 敷地 福岡県
 輸送手段



fig S3-1

名称 横浜共立倉庫 1 号
 竣工年 1921 年
 構造形式 鉄筋コンクリート造平屋建て
 敷地 横浜
 輸送手段



fig S3-2

名称 帝蚕倉庫
 竣工年 1926 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 3 階建
 敷地 横浜
 輸送手段



fig S3-3

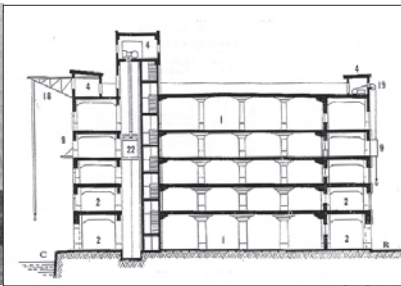


fig S3-4

名称 三井倉庫箱崎倉庫
 竣工年 1928 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 5 階建
 敷地 東京都箱崎
 輸送手段 舟

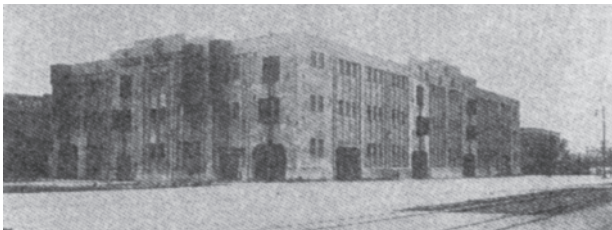


fig S3-5

名称 三井倉庫小野浜倉庫
 竣工年 1933 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 6 階建
 敷地 兵庫県神戸市小野浜
 輸送手段 舟、鉄道



fig S3-6

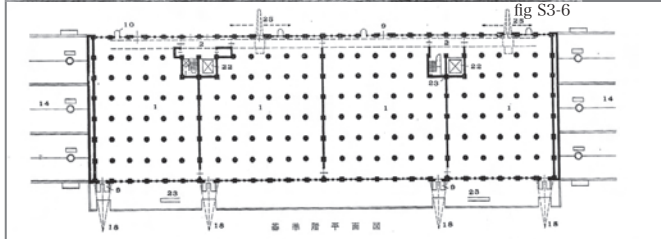
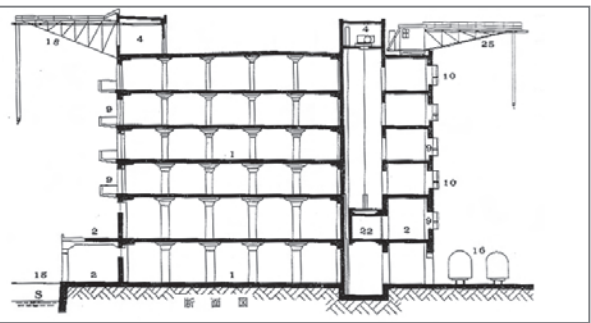


fig S3-7

名称 三井倉庫小野浜倉庫
 竣工年 1933 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 6 階建
 敷地 兵庫県神戸市小野浜
 輸送手段 舟、鉄道



fig S4-1

名称
竣工年
構造形式
敷地
輸送手段

三井倉庫名古屋倉庫中川支店
1935年
鉄筋コンクリート4階建
愛知県名古屋
舟

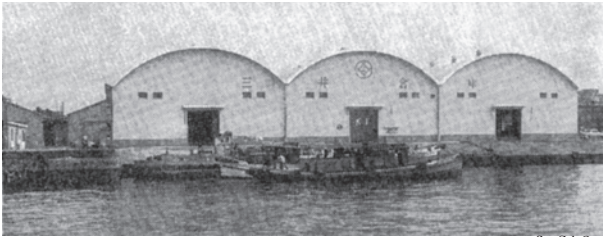


fig S4-2

名称
竣工年
構造形式
敷地
輸送手段

横浜支店 K号倉庫
1958年
鉄筋コンクリート造平屋
横浜
舟

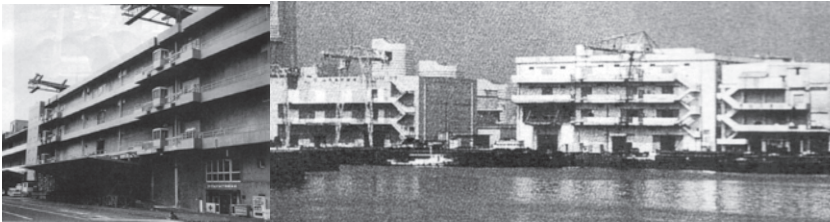


fig S4-3

名称
竣工年
構造形式
敷地
輸送手段

横浜中央地区倉庫
1959年
鉄筋コンクリート4階建
横浜
舟



fig S4-4

名称
竣工年
構造形式
敷地
輸送手段

三井倉庫第五突堤倉庫
1960年
鉄筋コンクリート造2階建て
神戸
舟

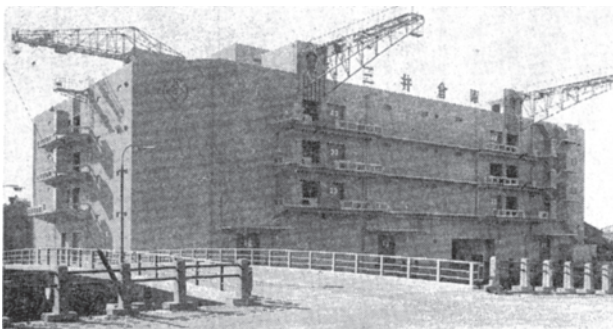


fig S4-5

名称
竣工年
構造形式
敷地
輸送手段

三井倉庫深川仙台堀倉庫
1963年
鉄筋コンクリート造4階建て
東京都深川
舟



fig S4-6

名称
竣工年
構造形式
敷地
輸送手段

本牧埠頭10号倉庫
1964年
鉄筋コンクリート3階建
横浜
舟

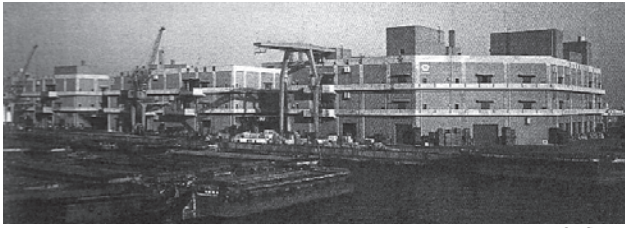


fig S5-1

名称 本牧埠頭 6 号倉庫
 竣工年 1966 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 3 階建
 敷地 横浜
 輸送手段 舟

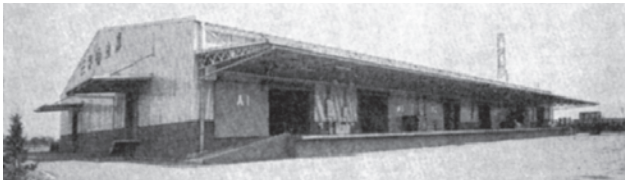


fig S5-2

名称 三井倉庫厚木倉庫
 竣工年 1967 年
 構造形式 鉄骨造平屋建
 敷地 神奈川県厚木市
 輸送手段 トラック

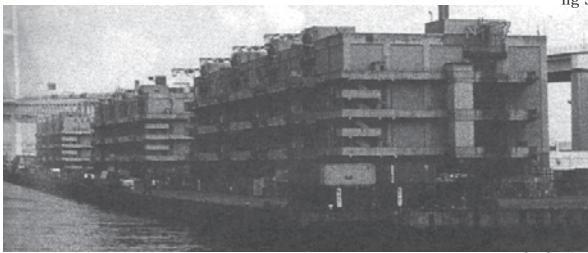


fig S5-3

名称 本牧埠頭 A 突堤倉庫
 竣工年 1968 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 4 階建
 敷地 横浜
 輸送手段 舟

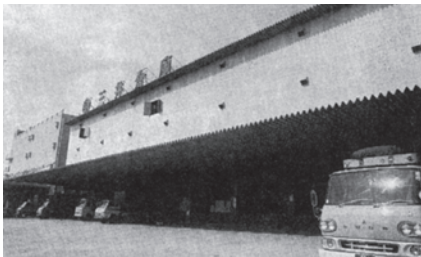


fig S5-4

名称 三井倉庫戸田倉庫
 竣工年 1970 年
 構造形式 鉄骨造 2 階建
 敷地 埼玉県戸田
 輸送手段 トラック

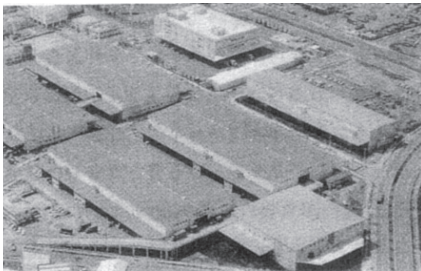


fig S5-5

名称 仙台団地倉庫
 竣工年 1970 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 2 階建
 敷地 仙台
 輸送手段 トラック

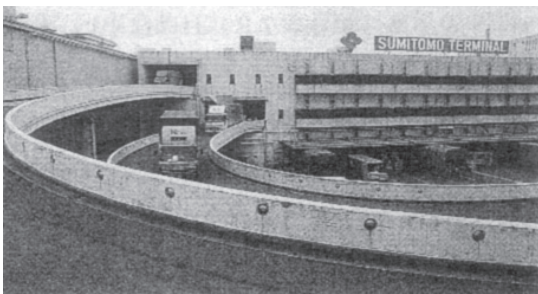


fig S5-6



fig S5-7

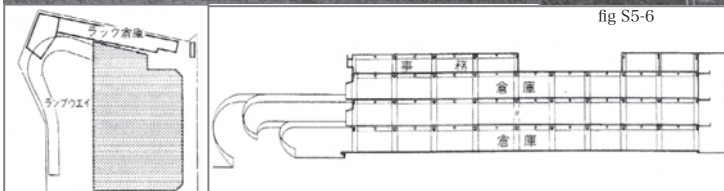


fig S5-8

名称 住友倉庫東大阪倉庫
 竣工年 1971 年
 構造形式 鉄筋コンクリート 3 階建
 敷地 大阪府
 輸送手段 トラック

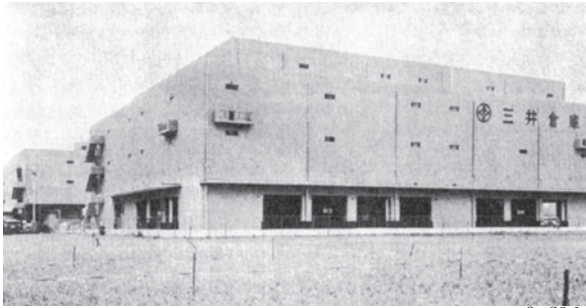


fig S6-1

名称 三井倉庫東大阪倉庫
 竣工年 1971年
 構造形式 鉄筋コンクリート4階建
 敷地 大阪府
 輸送手段 トラック

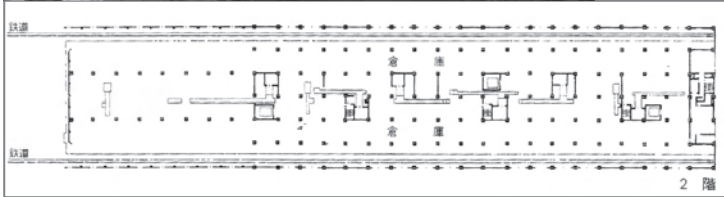
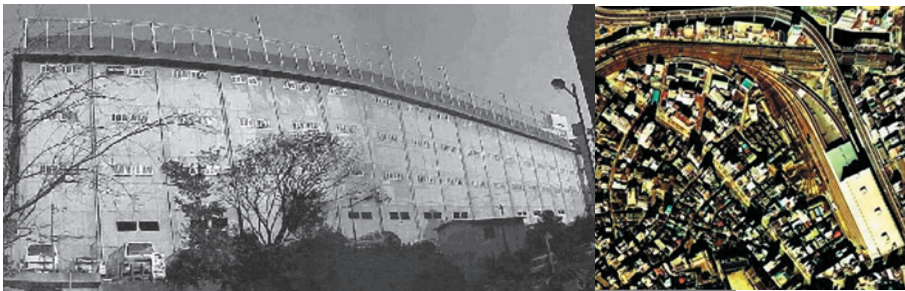


fig S6-2

名称 飯田町紙流通センター
 竣工年 1971年
 構造形式 鉄筋コンクリート5階建
 敷地 東京都飯田町
 輸送手段 鉄道、トラック



fig S6-3

名称 横浜大黒埠頭倉庫
 竣工年 1979年
 構造形式 鉄筋コンクリート4階建
 敷地 横浜
 輸送手段 舟



fig S6-4

名称
 竣工年 1980年
 構造形式 鉄筋コンクリート4階建
 敷地 横浜
 輸送手段 トラック

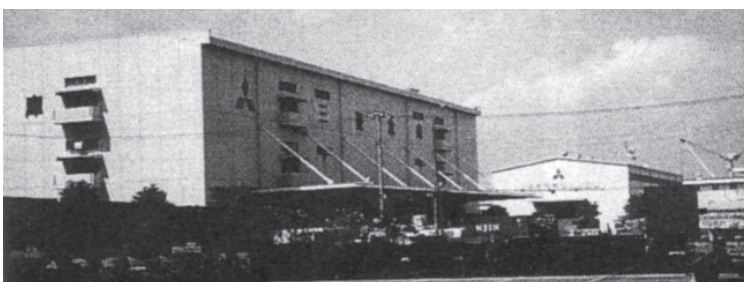


fig S6-5

名称 三菱倉庫大黒埠頭倉庫
 竣工年 1981年
 構造形式 鉄筋コンクリート3階建
 敷地 横浜
 輸送手段 トラック



fig S7-1

名称 三井倉庫太刀浦倉庫
 竣工年 1983年
 構造形式 鉄骨造平屋建て
 敷地 福岡県北九州市門司
 輸送手段 トラック

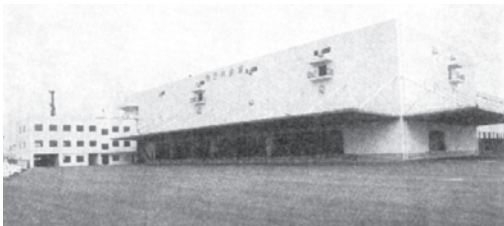


fig S7-2

名称 三井倉庫大井埠頭倉庫
 竣工年 1986年
 構造形式 鉄筋コンクリート造3階建て
 敷地 東京都大田区
 輸送手段 トラック

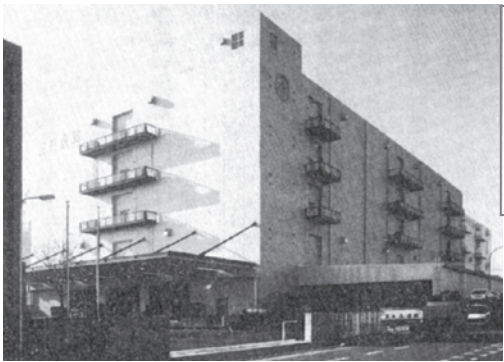


fig S7-3

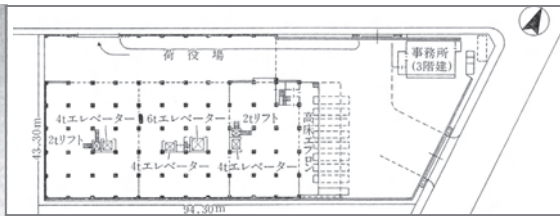
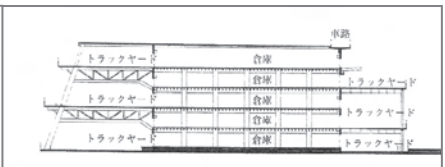
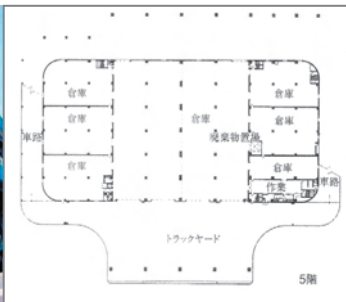


fig S7-4

名称 三井倉庫横浜支店大黒倉庫
 竣工年 1989年
 構造形式 鉄筋コンクリート造4階建て
 敷地 横浜
 輸送手段 トラック



fig S7-5



名称 ケイヒン大黒埠頭倉庫
 竣工年 1993年
 構造形式 鉄筋コンクリート造10階建て
 敷地 横浜
 輸送手段 トラック



fig S7-6

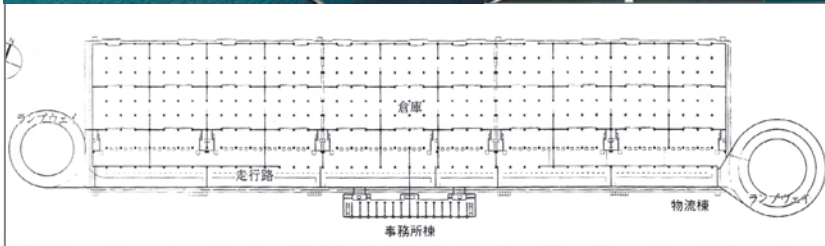


fig S7-7

名称 横浜港流通センター
 竣工年 1996年
 構造形式 PCコンクリート造
 敷地 横浜
 輸送手段 トラック

謝辞

この論文の完成まではとても長い道のりでしたが、多くの人の助けを借りることで書き上げることができました。まずはこの論文の指導教官である大野秀敏教授にお礼を申し上げたいと思います。最後まで面倒を見て頂いてありがとうございました。海外留学から帰国後に修論のテーマ決めに取かかりましたが、なかなか絞り込むことができず最終的に夏休みに入ってからようやくテーマを決めることができました。それまでにエスキスで毎回違う内容を持っていきながら、懇切丁寧にテーマを膨らませてくださった大野先生のアドバイスがなければこのテーマにはたどり着かなかったと思います。そしてその後のエスキスでも視野の拡大と、論点の整理を毎回していただいたことでこの論文は完成に至ったと思います。

卒業論文の時に手取り足取り面倒を見て頂いた鶴飼さんには、テーマ決定の時にまた相談させて頂いたことを感謝しています。新領域の助手である日高さんにもアドバイスを頂き、山崎さんには本郷でのエスキス時に毎回コーヒーを出していただきました。また同期で論文を執筆した四人がいたことで大きな励みにもなりました。学部4年生から3年間この大野研究室に在籍し、修士論文を執筆できたことを誇りに思っています。

副指導教官の伊藤毅先生には歴史的な観点からのアドバイスを頂きました。東京海洋大学物流研究室の苦瀬博仁先生には、物流に関する知識と現代のロジスティックシステムについてご指導していただきました。突然の問い合わせに即座に対応して下さった、東京倉庫協会様、東京都江戸東京博物館展示事業係様、陸上自衛隊広報センター様には貴重な情報を提供して頂きました。このような様々な分野の方々の助けを受けたことに感謝しています。

ここにすべての人の名前を挙げることはできませんが、たくさんの人の支えの元でこの論文を書き上げることができました。ありがとうございました。

平成 20 年 1 月 24 日